

見直しが必要な校則・問題に感じている校則

選んだ領域：髪型

選んだ理由

私は、モデルの〇〇に憧れています。〇〇は、髪をピンクに染めています。私自身も、髪をピンクに染めたいと思っていますが、校則で禁止されています。また、私のクラスには留学生が在籍しています。留学生は、髪の色が金色です。髪の色には個人差があるため、何色に染めても自由だと思っています。このように、日頃から髪型の校則について疑問に思っていたため、テーマに選びました。

トピック（項目）

髪型に関する校則は様々なものがあります。例えば、髪の色を染めることが禁止される場合もありますし、男女で決められた髪型があり、異なる髪型は許可されない場合もあります。特に、前髪は眉毛にかからないように整えることが求められる学校もあります。

子どもたちは髪型を自由に決めることが自己表現の一つであると考えられます。また、流行りの髪型があるため、他のクラスメイトからかっこいい・かわいいと思われたという気持ちもあるでしょう。

しかし、多くの教員は、学校に相応しい、学生らしい髪型があると思っていると考えられます。あまりに目立ちすぎる髪型は、非行につながると考える人もいるかもしれません。また、公共のルールを守ることは、社会生活を送る上で必要なことです。校則は、学校で定められたルールであるため、守らなければならないと考えられます。

「いい先生」とは

髪型に関して、見直しが必要な校則があり、子どもの意見や要望を聞いて、校則を改善していかなければなりません。しかし、学校の考えと一致しない要望もあるかもしれません。そのような場合には、子どもが納得できる丁寧な説明が必要だと思います。子どもとの対話を通して、校則について考えていきたいと思います。

また、社会的な認識から大きく逸脱した髪型は、学校では相応しくないと考えています。将来、社会人として働く際に、その職場に相応しくない髪型は避けるべきです。学校では、髪型を含めた社会的なルールを教える必要があると思います。髪型の校則は、子どもが社会的なルールを学ぶ「良い教材」になると思います。

## タイトル

---

受験番号：99999 氏名：〇〇〇〇

テーマ（主題）を選んだ理由

- ・憧れのモデル
  - ・髪の毛の色をピンクに染めている
  - ・私自身も髪の毛の色をピンクに染めたい
  - ・校則で髪の毛の色を染めることを禁止されている
- ・外国にルーツのある子ども
  - ・クラスに留学生が在籍している
  - ・金髪である
  - ・髪色には個人差がある

トピック（項目）

- ・校則の内容
  - ・染髪の禁止
  - ・髪型の指定
- ・子どもの意見や要望
  - ・自己表現をしたい
  - ・おしゃれをしたい：流行の髪型、かっこいい、かわいい
- ・学校や教員の考え
  - ・学校に相応しい髪型はある
  - ・ルールを守ることは重要

「いい先生」とは